

校内支援体制を整えて、一人一人の**教育的ニーズ**に応じた支援を！



実態把握

行動の背景・要因を探ることが重要！
環境要因や特性要因、本人からの聞き取りによる情報収集がポイント！

 氷山モデル



本人：自分らしく
 保護者：本人の困難さの理解者
 先生方：教育的ニーズに応じた支援を継続し情報を引き継ぐ

ケース会議

課題に対する対応を話し合う。誰が・
どうするといった役割分担を明確に！
話し合ったことを取り組み、複数の先
生方の目で見守る。

すべての学びの場で目指したいこと

校内研修会

より多くの先生方が一貫した関わり・
支援を行うことは子どもの安心・安全
につながる！その必要性を確認する
ことが重要！

個別の教育支援計画の策定

必要な支援内容を確実に関係者に引き継
ぐためのツール。保護者にその良さを知っ
ていただく！

使えるワザ！

相談・研修支援(※1)を活用！

- ④ 相談員と一緒に背景・要因を考えます。
- ④ ケース会議の進め方も支援します。

【ハンドブック】(※2)

P72～、P84～、P90～

使えるワザ！

相談・研修支援(※1)を活用！

- ④ ニーズに応じた情報提供、
研修支援を行います。

使えるワザ！

相談・研修支援(※1)を活用！

- ④ 策定のための情報提供を行います。

【ハンドブック】(※2)

P162～

(※2)コーディネートハンドブック 2020 年度版 特別支援教育センター刊行

URL:<https://special-center.fcs.ed.jp>



(※1)「ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業」の地域支援体制整備事業(小事業)では、各園・学校の校内支援体制づくりを応援します。

(※3)地域支援センターでは電話相談、来校相談も行っております。

(※3)会津地区の特別支援学校4校に設置されている

相談機関